

第22回
屋上・壁面緑化技術コンクール

応募資料作成要領

- ◎ 屋上緑化部門
- ◎ 壁面・特殊緑化部門
- ◎ 特定テーマ部門

◎ 屋上緑化部門

1. 屋上緑化部門に応募される方の作成する応募資料等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------------------|----------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募団体情報シート (A4版) | 様式-1 (Ms Excel) |
| (2) 提出資料② | 応募作品諸元 (A4版1枚) | 様式-2 (Ms Excel) |
| (3) 提出資料③ | 応募作品審査資料 (A3版3枚) | 様式-3 (Ms Word又はPowerpoint) |
| (4) 提出資料④ | 緑化施設平面図、断面図 (A3版各1枚) | (PDF) |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | (JPG) |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料 (必要に応じて) | (PDF) |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ (3)は、上記ファイル形式 (Ms Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式) に加えて、PDFファイル形式に変換して保存してください。

※ (1)～(4)は日本語で記載してください。

2. 様式-1 応募団体情報シートの記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募団体情報 I (連名代表者) の欄に連名を代表する応募者を記入し、応募団体情報 II 以降に続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。

※ 団体名、住所、代表者名及び生年月日は、法人登記情報に記載された内容を記入してください。

※ 担当部課、連絡先住所 (TEL、E-mail) 及び担当者名は、応募内容等の問合せをさせて頂く方を記入してください。

- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象となります。

※ 応募資料提出後の応募者の追加・変更や連名応募の場合の応募者名の順番等の変更は、いかなる理由があっても一切認めません。応募資料作成および提出にあたっては、応募者 (所有者、設計者、施工者、資材・工法の開発者又は管理者のいずれか) 間で必ず事前に調整を行い、追加・変更が生じないように、留意してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラム (260、265) に自己登録が可能です。申請に際しては、「造園CPD実施記録の自己登録ガイド (2023年4月、日本造園学会)」にて詳細をご確認ください。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

※ 記入いただいた情報は、応募者が反社会的勢力との関係がないことを確認するために使用しますので、漏れないようにご記入ください。

3. 様式-2 応募作品諸元の記入について

(1) 建築物の用途

屋上緑化が設置された建築物の用途を該当する種別から選択して記入してください

(2) 作品名称及び種別

①入選した場合は作品名称が受賞作品名となります。

※ 入選後、作品名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

②対象となる建築物の種別として「新築、既存」のいずれかを選択し、記入してください。また、対象となる緑化施設の種別として「新設、増設、改修」のいずれかを選択し、記入してください。

(3) 施設所在地・完成時期

応募作品の所在地、完成時期を記入してください。

※ 応募できる作品は、2022年3月31日までに工事が完了したものとします。

(4) 作品の規模

- ①敷地面積 敷地の水平投影面積。 【建築基準法施行令第2条1】
- ②建築面積 建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積。 【建築基準法施行令第2条2】
- ③応募作品面積 提出資料④（緑化施設平面図）において、一点破線などで明示した応募作品の区画の面積。
- ④緑被面積 緑化施設面積において、樹木、芝、草花など植物によって覆われた土地の面積。 【環境用語集「緑被率」EICネット】

(5) 緑化施設の整備費・年間維持管理費（参考）

おおよその屋上緑化施設の平米当りの整備費、年間維持管理費を記入してください。

(6) 他の受賞歴

応募作品の受賞歴を記入してください。

(7) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(8) 作品の所有者、設計者、施工者、管理者

応募作品の所有者、設計者、施工者、管理者を記入してください。

様式-1の応募団体情報に記載した内容と齟齬のないようにご記入ください。

4. 様式-3 屋上緑化部門査資料の記入について

下記注意事項と応募要綱の「12. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください。

(1) 作品の概要

下記に挙げた内容を参考に作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

- ①作品がつくられた経緯と目的
- ②作品が設置された建築物の名称や規模・用途
- ③作品の主な構成要素
- ④作品のコンセプト・特色
- ⑤技術的特徴
(対象技術例：植栽基盤・植物・資材・工法・環境配慮・デザイン・維持管理・運営等の工夫)
- ⑥目的やコンセプトの達成状況

(2) 緑化技術の概要

- ①緑被面積 (○m²)
- ②設計上の荷重条件と実際の荷重 (実際の荷重は平均値 ○kg/ m²)
- ③屋上緑化が行われている階数 (○階屋上等)
- ④土壌厚 (最低○○～最高○○mm あるいは平均値)

- ⑤土壌の種類と名称（例：人工軽量土・自然土／パーライト・黒土 等）
- ⑥土壌の比重（湿潤時の比重とする）
- ⑦植栽数量（高木○本 中木○本 低木○本 地被㎡）
- ⑧灌水方法（例：自動灌水システム、無灌水 等）

(3) 特徴的な緑化技術

- ①作品に用いられている特徴的な緑化技術 2～3 点を、図表を含めて1,500字程度にまとめてください。
- ②特徴的な緑化技術は下記事例を参考に選択してください。
 - ・ 植栽基盤（防水・防根・土壌等）の工夫や特色
 - ・ 植物選定の工夫や特色
 - ・ 資材・工法の工夫や特色
 - ・ 美観・デザイン・都市景観形成上の工夫や特色
 - ・ 自然環境や利用者への配慮
 - ・ 維持管理技術の工夫や特色
 - ・ 運営上の工夫や特色

(4) 写真

- ①写真は6枚とし、様式-3の3ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②緑化施設全体及び、緑化の現況が分かるもの、樹木や地被植物で緑化された状況及び緑化の特色、緑化の技術や工夫などが分かるものを撮影し、その説明及び撮影年月日等を記入してください。なお、写真の撮影日は応募日から直近1年以内のものとしませんが、施工状況の写真はこの限りではありません。
- ③使用した写真は様式に貼り付けたものをJPGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。
- ④少なくとも1枚は、当年度（2023年4月～）に撮影したものをに入れるようにしてください。

5. 緑化施設平面図

(1) 緑化施設平面図および断面図

応募作品の全体がわかり、着色された平面図（応募作品の区域を一点破線などで明示し、方位や縮尺・棒尺が記入されたもの）A3版1枚と、応募作品の植栽基盤の構造がわかり、着色された断面図（平面図のどこで切断したのかわかるように、平面図には「切断線」を示すこと）A3版1枚。各2枚以上提出された場合は、事務局にて応募作品が最も端的に示された図面、各1枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。

◎ 壁面・特殊緑化部門

1. 壁面・特殊緑化部門に応募される方の作成する応募用紙等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募団体情報シート (A4版) | 様式-1 (Ms Excel) |
| (2) 提出資料② | 応募作品諸元 (A4版1枚) | 様式-2 (Ms Excel) |
| (3) 提出資料③ | 応募作品審査資料 (A3版3枚) | 様式-3 (Ms Word又はPowerpoint) |
| (4) 提出資料④ | 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図 (A3版各1枚) | (PDF) |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | (JPG) |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料 (必要に応じて) | (PDF) |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ (3)は、上記ファイル形式 (Ms Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式) に加えて、PDFファイル形式に変換して保存してください。

※ (1)～(4)は日本語で記載してください。

2. 様式-1 応募団体情報シートの記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募団体情報Ⅰ (連名代表者) の欄に連名を代表する応募者を記入し、応募団体情報Ⅱ以降に続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。

※ 団体名、住所、代表者名及び生年月日は、法人登記情報に記載された内容を記入してください。

※ 担当部課、連絡先住所 (TEL、E-mail) 及び担当者名は、応募内容等の問合せをさせて頂く方を記入してください。

- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象となります。

※ 応募資料提出後の応募者の追加・変更や連名応募の場合の応募者名の順番等の変更は、いかなる理由があっても一切認めません。 応募資料作成および提出にあたっては、応募者 (所有者、設計者、施工者、資材・工法の開発者又は管理者のいずれか) 間で必ず事前に調整を行い、追加・変更が生じないように、留意してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラム (260、265) に自己登録が可能です。申請に際しては、「造園CPD実施記録の自己登録ガイド (2023年4月、日本造園学会)」にて詳細をご確認ください。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

※ 記入いただいた情報は、応募者が反社会的勢力との関係がないことを確認するために使用しますので、漏れのないようにご記入ください。

3. 様式-2 応募作品諸元の記入について

(1) 建築物の用途

壁面・特殊緑化が設置された建築物の用途を該当する種別から選択して記載してください。

(2) 作品名称及び種別

①入選した場合は作品名称が受賞作品名となります。

※ 入選後、作品名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

②対象となる建築物等の種別として「新築、既存」のいずれかを選択し、記入してください。また、対象となる緑化施設の種別として「新設、増設、改修」のいずれかを選択し、記入してください。

(3) 施設所在地・完成時期

応募作品の所在地、完成時期を記入してください。

※ 応募できる作品は、2022年3月31日までに工事が完了したものとします。

(4) 作品の規模

①敷地面積 敷地の水平投影面積。

【建築基準法施行令第2条1】

②応募作品面積 提出資料④（緑化施設平面図もしくは立面図）において、一点破線などで明記した応募作品の区域の面積。

③緑被面積 緑化施設面積において、樹木、芝、草花など植物によって覆われた土地の面積。

【環境用語集「緑被率」EICネット】

(5) 緑化施設の整備費・年間維持管理費

おおよその壁面・特殊緑化施設の平米当りの整備費、年間維持管理費を記入してください。

(6) 他の受賞歴

応募作品の受賞歴を記入してください。

(7) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(8) 作品の所有者、設計者、施工者、管理者

応募作品の所有者、設計者、施工者、管理者を記入してください。

様式-1の応募団体情報に記載した内容と齟齬のないようにご記入ください。

4. 様式-3 壁面・特殊緑化部門査資料の記入について

下記注意事項と応募要項の「12. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください

(1) 作品の概要

下記に挙げた内容を参考に作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

①作品がつくられた経緯と目的

②作品が設置された建築物等の名称や規模・用途

③作品の主な構成要素

④作品のコンセプト・特色

⑤技術的特徴

（対象技術例：植栽基盤・植物・資材・工法・環境配慮・デザイン・維持管理・運営等の工夫）

⑥目的やコンセプトの達成状況

(2) 緑化技術の概要

①緑被面積（〇㎡）

②設計上の荷重条件と実際の荷重（実際の荷重は平均値 〇kg/㎡）

・ 壁体に懸架している壁面緑化の場合は、壁体懸架許容荷重（不明な場合は空欄）と実際の平均荷重

・ 人工地盤やベランダ等の緑化の場合は許容荷重と実際の平均荷重

③土壌厚又は植栽基盤厚（最低〇〇～最高〇〇mm あるいは平均値）

- ④土壌又は植栽基盤の種類と名称（例：人工軽量土・自然土／パーライト・黒土 等）
- ⑤土壌又は植栽基盤の比重（湿潤時の比重とする）
- ⑥植栽数量（高木○本 中木○本 低木○本 地被㎡）
- ⑦灌水方法（例：自動灌水システム、無灌水 等）

(3) 特徴的な緑化技術

- ①作品に用いられている特徴的な緑化技術 2～3 点を、図表を含めて1,500字程度にまとめてください。
- ②特徴的な緑化技術は下記事例を参考に選択してください。
 - ・ 植栽基盤（防水・防根・土壌等）の工夫や特色
 - ・ 植物選定の工夫や特色
 - ・ 資材・工法の工夫や特色
 - ・ 美観・デザイン・都市景観形成上の工夫や特色
 - ・ 自然環境や利用者への配慮
 - ・ 維持管理技術の工夫や特色
 - ・ 運営上の工夫や特色

(4) 写真

- ①写真は 6 枚とし、様式-3の3ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②緑化施設全体及び現況が分かるもの、樹木や地被植物で緑化された状況及び緑化の特色、緑化の技術や工夫などが分かるものを撮影し、その説明及び撮影年月日等を記入してください。
なお、写真の撮影日は応募日から直近1年以内のものとしませんが、施工状況の写真はこの限りではありません。
- ③使用した写真は様式に貼り付けたものをJPGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。
- ④少なくとも1枚は、当年度（2023年4月～）に撮影したものを入れるようにしてください。

5. 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図

(1) 緑化施設平面図もしくは立面図、断面図

応募作品の全体がわかり、着色された平面図もしくは立面図（応募作品の区域を一点破線などで明示し、方位や縮尺・棒尺が記入されたもの）A3版 1 枚と、応募作品の植栽基盤の構造がわかり、着色された断面図（平面図もしくは立面図のどこで切断したのかわかるように、平面図もしくは立面図には「切断線」を示すこと）A3版 1 枚。各 2 枚以上提出された場合は、事務局にて応募作品が最も端的に示された図面、各 1 枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。

◎ 特定テーマ部門「GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）に向け、日本から発信する緑化を支える新たな技術」

1. 特定テーマ部門に応募される方の作成する応募資料等は、次のとおりです。

- | | | |
|-----------|--|---------------------------|
| (1) 提出資料① | 応募団体情報シート（A4版） | 様式-1（Ms Excel） |
| (2) 提出資料② | 応募技術諸元（A4版1枚） | 様式-2（Ms Excel） |
| (3) 提出資料③ | 応募技術審査資料（A3版2枚） | 様式-3（Ms Word又はPowerpoint） |
| (4) 提出資料④ | 技術のサイズ等を読み取ることのできる平面図、立面図（A3版各1枚、計2枚）
（PDF） | |
| (5) 提出資料⑤ | 様式-1、2、3に使用した写真 | （JPG） |
| (6) 提出資料⑥ | 参考資料（必要に応じて） | （PDF） |
| (7) 提出資料⑦ | 上記、提出資料①～⑥を保存したCD-ROM | |

※ 提出様式⑦のCD-ROMに保存するデータ形式は、(1)(2)はMs Excelファイル形式、(3)はMs Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式、(4)及び(6)はPDFファイル形式、(5)はJPGファイル形式としてください。

※ (3)は、上記ファイル形式（Ms Wordファイル形式又はPowerpointファイル形式）に加えて、PDFファイル形式に変換して保存してください。

2. 様式-1 応募団体情報シートの記入について

- (1) 応募者欄及び問合せ先窓口欄に必要な事項を記入してください。問合せ窓口となる方には、必要に応じて、応募内容等の問合せをさせて頂く場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 連名で応募する場合は、応募団体情報Ⅰ（連名代表者）の欄に連名を代表する応募者を記入し、応募団体情報Ⅱ以降に続けてその他の応募者を記入してください。応募者欄が不足した場合は様式をコピーして利用してください。

※ 団体名、住所、代表者名及び生年月日は、法人登記情報に記載された内容を記入してください。

※ 担当部課、連絡先住所（TEL、E-mail）及び担当者名は、応募内容等の問合せをさせて頂く方を記入してください。

- (3) 入選した場合は様式-1に記入した応募者が表彰の対象となります。

※ 応募資料提出後の応募者の追加・変更や連名応募の場合の応募者名の順番等の変更は、いかなる理由があっても一切認めません。 応募資料作成および提出にあたっては、応募者（開発者、販売者等）間で必ず事前に調整を行い、追加・変更が生じないように、留意してください。

- (4) 本コンクールは造園CPDプログラム（260、265）に自己登録が可能です。申請に際しては、「造園CPD実施記録の自己登録ガイド（2023年4月、日本造園学会）」にて詳細をご確認ください。

※ 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守し、取得した個人情報は法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ使用します。

※ 記入いただいた情報は、応募者が反社会的勢力との関係がないことを確認するために使用しますので、漏れのないようにご記入ください。

3. 様式-2 応募技術の諸元の記入について

(1) 固有名称

①入選した場合は名称が受賞技術名となります。

※ 入選後、名称を変更することはできませんので、事前に応募者間で調整した名称を記入してください。

(2) 仕様

応募技術の主な使用を記入してください。

例：製品の場合は、寸法、重量、容量、材質などを記入してください。ソフトウェアの場合は、利用者のターゲットや動作環境などを記入してください。サービスや取り組みの場合は、利用者のターゲット、利用形態、利用範囲などを記入してください。

(3) 販売・提供開始時期（年月日）

応募する製品・技術が販売・提供を開始した時期を記入してください。

(4) 技術のURL

応募技術に関する情報を公開しているURLを記入してください。

(5) 販売・提供価格（単価）

応募技術の販売・提供価格（単価）を記入してください。

例：製品・サービスの場合は、販売／利用価格を記入してください。単一価格で、価格帯がある場合はその下限と上限を記入してください。オープンプライスの場合は、参考価格を記入してください。

(6) 技術の概要

応募技術の全体像、誰のための何の技術であるか、セールスポイントなどを200字程度でわかりやすく紹介してください。

(7) 技術のポイント

応募技術を3点以内で（箇条書き）で紹介してください。

(8) 売上実績の有無

売上実績がある場合は、その年間売上数または累積売上数を記入してください。

(9) 他の受賞歴

主催団体名、コンクール等の名称、賞、受賞年月日を記入してください。

(10) 他への応募

「屋上・壁面緑化技術コンクール」に応募する作品を、他のコンクール等にも応募している場合、又は応募を予定している場合には、そのコンクール等の名称及び主催者名を記入してください。

(11) 開発者情報

応募製品・技術の開発者を記入してください。

様式-1の応募団体情報に記載した内容と齟齬のないようにご記入ください。

(12) 知的財産・関連法規に関する情報

応募製品・技術の知的財産に関する情報を尋ねています。①～④までに該当しない場合は、記入は不要です。

4. 様式-3 特定テーマ部門審査資料の記入について

下記、注意事項と応募要綱の「12. 審査のポイント」を参考にわかりやすく記述してください。

(1) 製品・技術の概要

下記に挙げた内容を参考に、「特定テーマ部門」であることを強く意識して、作品の概要を450字程度でまとめてください。その際、応募者名が入らないようご注意ください。

- ① 新規性・創造性・独自性
- ② 技術的完成度
- ③ 考案（開発）の経緯、提供の目的、意義

(2) 応募製品・技術について

「12. 審査のポイント」の「特定テーマ」の内容を参考に、項目（見出し）を2～3点に絞り、図表・写真を用いてまとめてください。

項目（見出し）は、下記事例を参考に選択してください。

- ・新規性・創造性：創造的なアイデアに富んだ新しい製品・技術であるか。
例) 従来にない要素があり、新規性に富んでいる。業界等において既に普及しているものではない。高度な技術を活用している。創造的なアイデアに富んでいる。
- ・独自性
例) 自社で開発した製品・技術である。自社の製品・技術として独占的に活用している（知的財産権の活用等）。
- ・市場性：市場性の高い製品・技術であるか。
例) 社会のニーズに応えている。価値に見合う価格である。量産に適している。経済的効果が期待できる。
- ・生産性
例) 応募製品・技術開発により事業や雇用が期待できる。地域の産業の発展を導いている。国内のみならず、世界への発信が期待できる。
- ・ビジネススキーム／応募製品・技術の生産・販売体制、全体像
例) 販売から生産・収益まで、どこがどのような役割を担っているのか、どこにいくらでどのような形で売り、収益を上げるのか、ヒト・モノ・カネ等の流れをわかりやすく説明できている（提供価格や販路、ユーザー層についても記入）。

(4) 写真

- ①図（ポンチ絵）、写真は6枚とし、様式-3の3ページの書式に貼り付けて提出してください。
- ②使用した図（ポンチ絵）、写真は様式に貼り付けたものをJPGファイル形式として、別途提出してください（提出資料⑤）。

5. 製品・技術のサイズ等を読み取ることのできる平面図、立面図

応募技術の全体がわかる平面図もしくは立面図（A3版各1枚）。各2枚以上提出された場合は、事務局にて応募技術が最も端的に示された図面、各1枚を選び、使用します。

6. 参考資料

必要に応じて、施設・材料・工法に係わる技術、性能、効果等の具体的データを示したパンフレットや掲載記事等、提出資料③以外の写真（できる限り、撮影年月を明示すること）を提出することができます。